

学生が“社会にいいこと”をするラボ (連携先：晴れフレ岡山)

ラボの課題

クラウドファンディング等を活用して、学生のアイデアでSDGsの実現や社会貢献を果たす。

春学期の活動報告

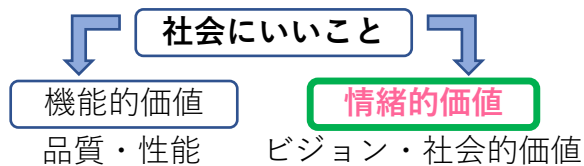
〈行った取り組み〉

価値提供フレームワークから、社会課題の解決に向けて、社会に提供すべき価値を

「機能的価値」と「情緒的価値」に分けて検討。

その成果を倉敷アリオと共催したSDGsイベントで実現。

〈実現を目指した価値〉



〈イベントの内容〉

①目標：環境・防災意識の浸透（実施日 6月17日） イベント参加者：153人

リサイクル・ガチャ

“使えるけれど要らなくなったもの物”を多くの人から集め、ガチャガチャの景品に。
誰かの要らないもので、誰かが貰って喜ぶ感動を提供。

牛乳パック リサイクル工作

処分する牛乳パックをリサイクルして、小物入れを作成。
リサイクルをおこない、自分の手で形に残る体験を提供。

防災新聞紙 スリッパ工作

防災時に役立つ、新聞紙で作れるスリッパの作成。
普段使っている身近なものが、災害時に身を守るために使えるという知識を提供。

防災グッズ シミュレーション

災害グッズを袋に詰めて、避難時に必要な物品を考えるゲームを実施。
被災時に使えるサバイバル知識をゲームを通じて提供。

環境カルタ

環境問題をテーマにしたカルタ遊びを実施。
遊びを通して、環境問題を知り、家族で考える機会を提供。

今後の計画・目標

秋学期は“社会にいいこと”に向けた活動をより深化させることを目指す。

より多くの方に価値を提供するために、

- ・ 子ども食堂・学童・リサイクル企業・学内のキャリア支援センターなどと連携し、具体的な課題解決を目指す。
- ・ 地域の企業・教育機関の抱えている課題を解決し、地域連携を進める。



担当教員：山口隆久、高橋良平、鈴川康晴

所属学生数 14名

ポスター制作：佐藤友也、藤本佳吾、桑田水城、島津翔